

防除情報(病害虫情報 号外 第6号)

平成27年7月7日
神奈川県農業技術センター

イネツトムシ(イチモンジセセリ)の防除適期 <情報更新>

病害虫情報号外第4号(平成27年6月30日発表)でイネツトムシの防除適期は「やや早」と発表しましたが、その後の気温実測値を考慮し、新しい予測日を算出しました。

平成27年7月6日現在の新しい予測では、第2世代幼虫の孵化最盛日は、県平均で「並」(7月24日頃)です(表1)。

ただし、気温観測地点によっては、「やや早」の予測日が出ていますので、近くの観測地点の予測日を参考にしてください。

※今後の気象変動によって予想日は変わる可能性があります。

[防除]

防除適期は、**粒剤では孵化最盛日の5日前**、その他の薬剤では**孵化最盛日から5日後程度**です。各地点における孵化最盛日の予測は、表1のとおりです。**薬剤の剤型にあわせて適期に防除を行ってください。**

常発地では特に注意し、防除を行うようにしてください。

[防除薬剤]

薬剤名	倍率又は散布量(10a)	使用時期及び回数	有効成分ごとの総使用回数
パダン粒剤4	3~4kg	30日、6回	6回
パダンSG水溶剤	1500倍	21日、6回	6回
スミチオン乳剤	1000倍	21日、2回	3回(本田2回)

* 上記薬剤を飼料用米栽培に使用する場合は、次の対策に留意すること。

- (1)飼料用米について、出穂以降(ほ場において出穂した個体が初めて確認される時点以降をいう。以下同じ。)に農薬の散布を行う場合には、家畜へは糶摺りをして玄米で給餌すること。
- (2)粳米のまま、もしくは粳殻を含めて家畜に給餌する場合は、出穂以降の農薬の散布は控えること。

表1 有効積算温度によるイチモンジセセリ第2世代予測孵化最盛日(2015年7月6日現在)

地点	2015年予測日 ^{z)}	(平均比)	平均日 ^{y)}	観測地点の概要
横浜市中区	7/20	(並)	7/22	横浜地方气象台
海老名市中新田	7/22	(並)	7/24	アメダス
小田原市扇町	7/25	(並)	7/26	アメダス
藤沢市辻堂	7/24	(並)	7/25	アメダス
平塚市寺田縄	7/20	(やや早)	7/24	農業技術センター水田ほ場
厚木市七沢	7/28	(並)	7/27	自然環境保全センター
県平均(6地点平均)	7/24	(並)	7/25	

z : 5月5日を越冬世代の蛹化最盛日(平成12年度神奈川県農林水産関係試験成績成果資料)とし、有効積算温度684.94日度に到達した日を予測日とした(江村・内藤 埼玉農試研究報告第43号: 36-43(1988))。

y : 過去10ヶ年の予測日の平均値

病害虫防除部 TEL 0463 - 58 - 0333
インターネット <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f450002/>

○ 農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。

※ 農薬に関する情報は、平成27年7月1日までの農薬登録情報に基づいて記載しています。